



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 表示灯株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7368 URL <http://www.hyojito.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳毛 孝裕  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 永井 東一 TEL 052 (307) 6633  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,810	3.3	265	45.3	295	28.3	186	33.4
2023年3月期第2四半期	4,656	△1.0	183	△47.5	230	△33.9	140	△37.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	39.57	—
2023年3月期第2四半期	29.66	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2024年3月期第2四半期	13,553		7,341		54.2
2023年3月期	13,762		7,292		53.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,341百万円 2023年3月期 7,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年3月期	—	30.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,573	6.2	550	—	606	△2.4	413	401.7	87.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	4,720,245株	2023年3月期	4,720,245株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	45株	2023年3月期	45株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	4,720,200株	2023年3月期2Q	4,720,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信開示後に開示し、当社ホームページにも掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. その他 .....	9
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いている一方で、世界的なエネルギー・食糧価格の高騰、欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念や継続する地政学的なリスクなどが影響し、先行き不透明な状況が続いております。

広告業界においては、経済産業省が本年10月に発表した「特定サービス産業動態統計調査」によれば、8月の屋外広告や交通広告の売上高は前年同月を上回りました。一方で、テレビ等のマス4媒体広告は前年同月を下回る推移が継続しております。

このような状況の中、当社は今年度スローガン「表示灯Reborn!!」を掲げ、災害警報システム「NAVIアラート」事業開始、既存ビジネスにおきましては、既存媒体（広告）価値向上やWEBビジネスの拡大により収益力向上を図り、取引拡大に努めてまいりました。利益面では本年度より社員の給与水準を引き上げたものの、製造原価や販管費の見直しを進め、前年度より改善いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上収益は4,810百万円（前年同期比3.3%増）。営業利益は265百万円（同45.3%増）となり、経常利益は295百万円（同28.3%増）、四半期純利益は186百万円（同33.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

#### <ナビタ事業>

ナビタ事業においては、既存ナビタの媒体（広告）の価値向上を図るとともに、WEB商材の販売強化や新規媒体開発による付加価値の向上、電子契約化促進などによるデジタル化を進めた結果、売上収益は3,998百万円（前年同期比0.0%増）、セグメント利益は555百万円（同11.0%増）となりました。

#### <アド・プロモーション事業>

広告需要の回復の兆しが見られ、鉄道以外の媒体広告の拡販やマス媒体の強化及び自治体ビジネスさらにWEB商材の開発に取り組んでまいりました。屋外広告の回復は人目を引く大型広告媒体がけん引しており、広告売上の回復状況も地域や媒体間の格差が大きく、売上収益は303百万円（前年同期比22.1%増）、セグメント利益は19百万円（同8,252.6%増）となりました。

#### <サイン事業>

自治体・病院などにおける営業の強化や既存取引先との取引拡大、災害警報システム「NAVIアラート」の販売を開始しましたが、開発コストが先行した結果、売上収益は509百万円（前年同期比23.9%増）、セグメント損失は147百万円（前年同四半期はセグメント損失76百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は13,553百万円（前年度末比208百万円減）となりました。

資産、負債及び純資産の状況につきましては、以下のとおりであります。

#### ①資産

流動資産につきましては、前払費用が増加する一方、売上債権の減少等により、8,133百万円（同84百万円減）となりました。

固定資産につきましては、ナビタ事業における設備投資が増加するとともに、減価償却による有形・無形固定資産の減少により、5,419百万円（同124百万円減）となりました。

#### ②負債

流動負債につきましては、契約負債が増加する一方、仕入債務の減少などにより、5,989百万円（同271百万円減）となりました。

固定負債につきましては、退職給付引当金の増加などにより、222百万円（同13百万円増）となりました。

#### ③純資産

剰余金の配当を141百万円実施した一方、四半期純利益186百万円を計上したことから純資産は7,341百万円（同49百万円増）となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ2百万円減少し、3,714百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動の結果獲得した資金は350百万円（前年同四半期341百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上287百万円、減価償却費の計上289百万円、売上債権及び契約資産の減少364百万円による資金の増加および仕入債務の減少341百万円、前払費用の増加223百万円による資金の減少によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は209百万円（前年同四半期は1,639百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得により225百万円を支出したことによります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は143百万円（前年同四半期は142百万円の使用）となりました。これは主に配当金を141百万円支払ったことによります。

## (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日付「2023年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想数値から変更ございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,584,111	6,581,164
受取手形	57,178	41,014
電子記録債権	11,400	8,576
売掛金及び契約資産	919,702	573,887
棚卸資産	99,140	100,065
前渡金	45,868	105,625
前払費用	458,463	681,950
その他	50,927	46,420
貸倒引当金	△9,069	△5,287
流動資産合計	8,217,721	8,133,417
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	835,025	816,826
構築物（純額）	6,276	5,924
機械及び装置（純額）	5	2
車両運搬具（純額）	6,033	5,029
工具、器具及び備品（純額）	1,673,396	1,623,426
土地	1,710,972	1,710,972
リース資産（純額）	10,967	9,610
建設仮勘定	31,102	42,268
有形固定資産合計	4,273,780	4,214,060
無形固定資産		
ソフトウェア	256,459	228,008
その他	10,716	10,716
無形固定資産合計	267,176	238,724
投資その他の資産		
投資有価証券	67,997	73,946
出資金	625	615
長期貸付金	290	420
破産更生債権等	83,554	83,707
長期前払費用	156,325	194,120
保険積立金	280,622	230,622
繰延税金資産	304,306	302,697
その他	193,399	164,715
貸倒引当金	△83,554	△83,707
投資その他の資産合計	1,003,565	967,136
固定資産合計	5,544,522	5,419,921
資産合計	13,762,244	13,553,339

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	880,463	539,433
リース債務	4,006	4,006
未払金	197,665	185,465
未払費用	268,826	246,800
未払法人税等	121,716	138,206
未払消費税等	75,619	104,433
契約負債	4,518,239	4,556,086
前受金	3,131	3,798
預り金	25,138	23,768
賞与引当金	165,005	186,129
資産除去債務	1,111	1,111
その他	278	4
流動負債合計	6,261,203	5,989,244
固定負債		
リース債務	9,077	7,583
退職給付引当金	91,764	104,302
役員退職慰労引当金	74,860	77,560
資産除去債務	14,670	14,670
その他	18,469	18,469
固定負債合計	208,842	222,586
負債合計	6,470,046	6,211,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,761	923,761
資本剰余金	770,533	770,533
利益剰余金	5,570,048	5,615,214
自己株式	△85	△85
株主資本合計	7,264,257	7,309,423
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,940	32,084
評価・換算差額等合計	27,940	32,084
純資産合計	7,292,198	7,341,507
負債純資産合計	13,762,244	13,553,339

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上収益	4,656,671	4,810,590
売上原価	2,109,395	2,188,557
売上総利益	2,547,276	2,622,033
販売費及び一般管理費	2,364,257	2,356,159
営業利益	183,018	265,873
営業外収益		
受取利息	77	508
受取配当金	495	648
受取家賃	23,799	28,023
保険解約返戻金	20,387	366
その他	7,117	6,846
営業外収益合計	51,877	36,393
営業外費用		
賃貸費用	4,412	6,385
その他	422	689
営業外費用合計	4,835	7,074
経常利益	230,061	295,192
特別損失		
固定資産除却損	9,566	7,994
特別損失合計	9,566	7,994
税引前四半期純利益	220,494	287,198
法人税等	80,480	100,426
四半期純利益	140,014	186,771



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	220,494	287,198
減価償却費	359,709	289,512
固定資産除却損	9,566	7,994
受取利息及び受取配当金	△573	△1,157
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	203,345	364,801
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△262	△925
前渡金の増減額 (△は増加)	△77,397	△59,756
前払費用の増減額 (△は増加)	△258,976	△223,487
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,087	△3,627
仕入債務の増減額 (△は減少)	△182,307	△341,029
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,653	28,813
前受金の増減額 (△は減少)	441	666
契約負債の増減額 (△は減少)	47,786	37,846
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,061	21,124
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,233	12,538
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8,040	2,700
未払金の増減額 (△は減少)	7,931	28,643
その他	4,883	△19,344
小計	343,462	432,511
利息及び配当金の受取額	573	1,157
法人税等の支払額	△2,077	△83,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	341,958	350,009
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△361,100	△225,760
無形固定資産の取得による支出	△101,403	△22,506
定期預金の預入による支出	△1,407,007	△2,308,015
定期預金の払戻による収入	217,012	2,308,007
保険積立金の積立による支出	—	△14,613
保険積立金の解約による収入	—	53,863
長期前払費用の取得による支出	—	△29,160
その他	13,013	28,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,639,485	△209,949
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△1,405	△1,493
配当金の支払額	△141,517	△141,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,923	△143,014
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,440,450	△2,954
現金及び現金同等物の期首残高	4,674,169	3,717,088
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,233,719	3,714,134

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ナビタ事業	アド・プロモ ーション事業	サイン事業	計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	3,997,223	248,578	410,868	4,656,671	—	4,656,671
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,997,223	248,578	410,868	4,656,671	—	4,656,671
セグメント利益又は損失(△)	499,981	233	△76,442	423,772	△240,753	183,018

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△240,753千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	ナビタ事業	アド・プロモ ーション事業	サイン事業	計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	3,998,067	303,488	509,034	4,810,590	—	4,810,590
セグメント間の内部売上収 益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,998,067	303,488	509,034	4,810,590	—	4,810,590
セグメント利益又は損失(△)	555,406	19,482	△147,058	427,830	△161,956	265,873

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△161,956千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。